

# 進路のみかた

いせはらしえんがっこう  
伊勢原支援学校

れんけいしょん しんろしえんはん  
連携支援グループ/進路支援班

れいわねんがつ にちはっこう  
令和7年7月18日発行

だいごう  
第2号

今年も暑い日が続いています。水分補給などに配慮しながら熱中症に気をつけていきましょう。  
今回のお知らせでは、校内実習について紹介します。実習は、校内実習と現場実習に分かれます。校内実習での成功体験と自信をベースにして、現場実習につなげることが大切になります。学年によって、一人ひとり目標を設定し、様々な工夫をして実習を行いました。その様子をお伝えしていきます。

## 【本校高等部の校内実習について】

<校内実習> 6月9日(月)~20日(金)

今回は、近隣の企業から「ボールペンの組み立て」「ダスター(おしぶり)の仕分け」「CDケースのリサイクル」「ギフトボックスの検品・袋詰め」といったお仕事をいただき、各学年で取り組みました。6月4日には壮行会を行い、各学年での目標を発表しました。また、同月25日には報告会を行い、出来高や、実習を行った感想を発表しました。壮行会の時よりも、堂々と頼もしく発表する生徒の姿を見て、実習を通じて生徒一人ひとりが成長することができた期間だったのだと実感しました。

## 【1年生～知る～】

1年生にとっては初めての校内実習でした。実習の前の授業で「働くとはどんなことなのか?」「働くうえで大切なことはなにか?」をよく考えて実習に臨みました。その結果、2週間の実習で体調の管理、時間を守ること、元気よく挨拶をすること、報告・連絡・相談の大切さなどを「知る」ことができました。どれも働くうえで基本中の基本ですが、このことを忘れずに、今後の実習につなげていきましょう。

## 【2年生～広げる(チャレンジ)～】

2年生は昨年度の経験を土台にさらにステップアップできるよう、得意なことだけでなく新たなことにも「チャレンジ」する姿が見られ、作業種や作業時間などの幅を「広げる」こともできました。初めての実習材である「ギフトボックスの検品・梱包」を行い、商品にキズがないか細かくチェックすることができました。2学期以降の現場実習につながる「よい準備」ができたと思います。

## 【3年生～決める～】

さすが3年生。全員が現場実習を意識した取り組みを見せていました。卒業後の進路先を「決める」ために、それぞれが自分の目標を意識して校内実習に取り組んでいました。「働く姿勢」が常に真剣で、集中している様子が3年生にはありました。

それぞれの学年の学びの成果を、作業の授業を始め、学校生活に活かすとともに、卒業後の生活についていきましょう。

## 【分教室の校内実習について】

<校内実習> 6月16日(月)～27日(金)

伊志田分教室では1年生が前期校内実習に取り組みました。作業は例年と同じくリサイクル工場からいただいた「LEDライトユニット(蛍光灯タイプ)」の分解作業です。校内実習では、2年生からの企業現場実習に備えて、立ち作業に慣れるとともに、挨拶・報告・連絡・相談(ほう・れん・そう)といったビジネスマナーを身につけ、「働く力」を高めたいと考えています。また、「作業中にケガをしない」ことも大きな目標として掲げています。LEDライトユニットの分解にはドライバー(プラス、マイナス)、ペンチ、ニッパといった工具を使いますが、正しい使い方をしないとケガにつながってしまいます。そのため、ゆっくり作業を進め、工具に慣れるところから始めました。

初めは慎重に取り組んでいた生徒たちでしたが、日を追うごとに手際が良くなり、作業スピードも格段にアップ。2週間の実習で約5500本のLEDライトユニットを分解し、梱包して、納品することができました。初めの数日間は立ち作業に疲れた様子を見せる生徒もいましたが、実習の後半には疲れた様子はほとんど見られなくなり、たくましさが感じられるくらいでした。「ほう・れん・そう」もしっかりと身につけることができ、大きな成果が見られた実習でした。10月には2週間の後期校内実習を予定しています。より一層働く力をつけて、2年生の企業現場実習につなげていきたいと思います。